

関係諸団体各位

公益社団法人日本ボート協会

強化委員会

2017 年世界選手権（サラソタ）日本代表選考結果について

先般行われましたワールドカップ第 3 戦（ルツェルン：以下 WCⅢとする）の成績等を主要な考慮要素とし、2017 年世界選手権（サラソタ）日本代表クルーの選考を行いました。その選考の要諦は、シニアカテゴリーにおけるターゲットである、オリンピック種目において最低でも Final B を、非オリンピック種目においては最低でも Final A を実現できるかということになります。

このターゲットの達成可能性、及び客観性のある指標である IDT（Ideal Time）に対する達成率を基軸に、以下のクルーを選考致しました。

各種目の Ideal Time（以下 IDT とする）は次の通りです

LM2x	6:02.00
LM4x	5:39.00
LM1x	6:35.00
LW4x	6:20.00
M1x	6:29.00

WCⅢの結果及び IDT 達成率は次の通りです。

LM2x 池田 裕紀選手（トヨタ紡織）、佐藤 翔選手（新日鐵住金）

WCⅢ 総合 9 位（FB 3 位）

タイム 6:27.84（無風～微逆） IDT 達成率 = 93.34%

※タイムは WCⅢSF を採用

LM4x 越智 寛太選手（今治造船）、三浦 友之選手（NTT 東日本）、西村 光生選手（アイリスオーヤマ）、青松 載剛選手（東レ滋賀）

WCⅢ 総合 9 位（FB 3 位）

タイム 6:03.62（無風） IDT 達成率=93.23%

※タイムは WCⅢFB を採用

LM1x 大元 英照選手（アイリスオーヤマ）

WCⅢ総合 14 位（FC 2 位）

タイム 7:12.43（無風～微順） IDT 達成率=91.34%

※タイムは WCⅢFC を採用

LW4x 土屋 愛選手（明治安田生命）、川本 藍選手（トヨタ自動車）
福本 温子選手（トヨタ自動車）、山領 夏実選手（DENSO）
WCⅢ総合 3 位
タイム 6:40.94（順風） IDT 達成率=92.23%
※タイムは WCⅢFA を採用

M1x 荒川 龍太選手（NTT 東日本）
WCⅢ総合 18 位（FC 6 位）
タイム 7:09.10（無風～微逆） IDT 達成率=90.65%
※タイムは WCⅢHeat を採用

M1x 栗原 誠和選手（明治安田生命）
WCⅢ総合 29 位（FE 6 位）
タイム 7:26.22（無風～微逆） IDT 達成率=87.18%
※タイムは WCⅢHeat を採用

※LW1x 富田 千愛選手（明治大学）、W1x 榊原 春奈選手（トヨタ自動車）は棄権。また、LM2x で出漕予定だった奈良 和紀選手（新日鐵住金）も棄権したため、大元 英照選手が LM1x で出場致しました。

以上の結果を踏まえた総合的判断により、強化委員会としては以下のように結論づけました。

- 1) LM2x 池田 裕紀選手（トヨタ紡織）、佐藤 翔選手（新日鐵住金）
現段階でターゲットとする FB へ進出した。また、世界選手権では FA 進出も十分に争えると判断し、2017 年世界選手権（サラソタ）の日本代表クルーと認定した。
- 2) LM4x 大元 英照選手（アイリスオーヤマ）、奈良 和紀選手（新日鐵住金）、
福井 康選手（東レ滋賀）、西村 光生選手（アイリスオーヤマ）
WCⅢでの IDT 達成率、及び WCⅢのメンバーよりも「2017 年度日本代表候補選考レース結果」で上位の選手で構成することにより、世界選手権では FA 進出を十分に争えると判断し、2017 年世界選手権（サラソタ）の日本代表クルーと認定した。
- 3) LW4x 土屋 愛選手（明治安田生命）、川本 藍選手（トヨタ自動車）、福本 温子選手（トヨタ自動車）、山領 夏実選手（DENSO）
WCⅢでの IDT 達成率、及び 2020 年東京オリンピックに向け重点強化が必要なカテゴリーであることを考慮し、2017 年世界選手権（サラソタ）の日本代表クルーと認定した。

4) M1x 荒川 龍太選手 (NTT 東日本)

WCⅢの IDT 達成率は決して高いものではなかったものの、IDT として採用した WCⅢHeat のトップタイムの選手でも IDT 達成率が 92.39%であったことに加え、2020 年東京オリンピックに向けオープンカテゴリーの強化が不可欠であること、さらには評価基準データの蓄積の必要性等の政策的要素も考慮し、2017 年世界選手権 (サラソタ) の日本代表クルーと認定した。

5) W1x 榊原 春奈選手 (トヨタ自動車)

WCⅡの結果から FB 進出を争うには現段階では難しいと判断した。
そのため、2017 年アジア選手権 (パタヤ) の日本代表クルーと認定した。

6) M1x 栗原 誠和選手 (明治安田生命)

WCⅢの結果から FB 進出を争うには現段階では難しいと判断した。
そのため、2017 年アジア選手権 (パタヤ) の日本代表クルーと認定した。

7) 越智 寛太選手 (今治造船)

世界選手権 LM4x のスペア選手として選考。フランスにおける強化合宿において実施する評価 TT のタイムによっては、2017 年世界選手権 (サラソタ) に LM1x として派遣する可能性がある。

8) 青松 載剛選手 (東レ滋賀)、三浦 友之選手 (NTT 東日本)

2017 年アジア選手権 (パタヤ) の日本代表クルーと認定した。

9) 武田 匡弘選手 (関西電力美浜)、富田 千愛選手 (明治大学)、高島 美晴選手 (明治大学) について

各選手が一段と成長し、心身両面の充実を図るには、国内で練習に専念するのがより適当と判断されたことから、本人および所属団体との協議の上、その了承を得て、今回の世界選手権の派遣を見送ることにいたしました。

以 上